

もともとはオーディオ店
だったんです!

アトム福大前

VIEW通信

23年ぶり再開の第2号
2016年2月23日号

何人かのお客様から「懐かしいね!オーディオが載ってたね」と言っていました。その当時うちでバイトをしていた大学生の女性はもう大学生になる子供がいます。今ではお客様としてお付き合いがあるのですが、この「VIEW通信」を作るのに手書きをしたり、写真をはさみで切ったりして手伝ってくれていたのです。今ではパソコンが楽にきれいに作ってくれます。彼女も次を楽しみにしていますと言ってくれました。今回は「我が家のオーディオ自慢」を少しだけお話しします。
清田良平

★これなんだかご存知ですか?★

①オープンデッキ(2トラ38・ツトラサンパチ)・・・オープンテープデッキです。これで30分しか録音できません。1978年頃の製品で、315,000円の高級機でした。我が家には37年くらい前の生録音のテープがたくさんあって、それを聴くために使っています。

②真空管アンプ・・・たった5Wの出力しか出ません。でも面白い音が出ます。

③YLのホーンスピーカー・・・今では存在しないスピーカーメーカーですが、やはり30~40年前のものでいまだに健在です。見えにくいのですが、大きな黒いホーンスピーカーの下に小さな黒いホーンと、金色スーパーツイーターもあります。その下の木製の箱に入っているのが低音域担当のTADの40cmウーファーです。



★古いオーディオと最新のデジタルオーディオ★

●左からパソコン・CDプレーヤー・プリアンプなど、真中は中音域と高音域を担当するパワーアンプ、一番右が低音域を担当するパワーアンプです。

パソコン・CDプレーヤーやプリアンプは最新の物ですが、それ以外はすべて30年以上前のものを使っています。

パソコンとCDプレーヤーを使って、近頃注目されている「**ハイレゾミュージック**」を再生しています。ハイレゾは簡単に言うと、音楽を録音するスタジオのミキサールームのモニタースピーカーから出る音と同じものを聴くことができるのです。CDはその音をCDディスクに入る情報量に圧縮して製作します。大体CDの情報量の6.5倍(192KHz・24bit)あるので、アーティストの息づかいやライブの空気感など、CDでは聴こえなかったディテールやニュアンスを感じ取れる、原音に近い音質なのです。曲は高音質で試聴できるe-ONKYOなどのサイトからダウンロード購入しています。毎晩試聴して、気に入ったアルバムだけを購入しています。最近買ったアルバムは「**スティーブガッド**」「**ブライアン・ブロンバーク**」など、重低音あふれるすごいアルバムです。

●昔オーディオが大好きで、高級機をたくさんそろえたけれど、今では聴かなくなって倉庫にしまってあるというお客様がたくさんいらっしゃいます。何人かのお客様が我が家においでになって、古いオーディオを見て昔懐かしい話をされます。しかし初めてハイレゾを聴いた方は、30年以上前のオーディオなのに、まったく古さを感じない音を聴いたと驚かれ、我が家の古いオーディオでも大丈夫か?とよく聞かれます。故障がなければ古くてもほとんど問題なく聴けますし、故障しても修理する手段があるので!

●オーディオメーカーでは、10年以上経過した機器は修理不能と言われるます。30年も経てばまったく不可能なのですが、当店では専門の修理技術者と契約して修理をお受けしています。もちろん供給不可能な独自の部品が必要な場合は、お断りすることもあります。ぜひ一度ご相談ください。我が家のオーディオもほとんど何らかの故障がありましたが、修理して使用しています。

●これらの古いオーディオはお店ではなく我が家で試聴できます。販売はできませんが、ご興味のある方は是非お出で下さい。また古いオーディオの再利用のご相談もお受けします。

★さて来月の話題は…今はまっています!★

●「やっぱりウイスキーには燻製だね!」と毎晩飲んでしまいます。木製の燻製製造機を作って4ヶ月、やっと安定した味付けと作り方がわかってきました。来月は我が家の燻製作りについて、お話しします! 酒飲み必見!

